

*Navicula sensu lato*

# 珪藻 *Navicula* 図鑑

福島 博・木村 努 共著 B5 判上製・総頁 596 頁・定価 (本体 33,000 円+税)

環境指針としての珪藻の中でも多数を占めることから、同定が比較的煩雑で難しい *Navicula* 属について、殻長、殻幅、条線密度、点紋密度等を計測し、同定に役立つ情報として計測数、計測値、あるいは指数化した値を示す。丁寧な解説、写真を付し、環境、水処理分野の関係者、藻類関係者にとって有用・実用の書である。

珪殻の形の表現、各部の名称および計測法/本書で用いる用語/収録種解説 *Adlafia, Aneumastus, Caloneis, Cavinula, Chamaepinnularia, Cosmioneis, Craticula, Decussata, Diademsis, Diploneis, Eolimna, Fallacia, Geissleria, Hippodonta, Humidophila, Luticola, Navicula, Naviculadicta, Parlibellus, Pinnuavis, Placoneis, Sellaphora* / 図版と図版解説/計測値/調査地点一覧/参考文献/種名一覧

## 小林 弘 珪藻図鑑

*H Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy*

小林 弘 出井雅彦・真山茂樹 著 B5 判上製・総頁 596 頁・定価 (本体 34,000 円+税)  
南雲 保・長田敬五

珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書。斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠する。プレートとその解説を始めとして特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かり易く示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

【内容目目】凡例/新分類群・新組み合わせ・新用語/収録分類群一覧/珪藻の殻構造と用語/珪藻用語対照表/珪藻分類体系/和文解説/欧文解説と図版/属の学名 - 和名対照表/引用文献/学名索引

## 淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DA<sub>Ipo</sub>, pH 耐性能

渡辺 仁治 編著 浅井一視・大塚泰介 著 B5 判上製・総頁 784 頁・定価 (本体 33,000 円+税)  
辻 彰洋・伯耆晶子

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため全てのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

総論 珪藻研究の歴史/環境指標としての珪藻群集/湖沼、河川共通の水質汚濁指数 DA<sub>Ipo</sub> /珪藻の生活様式/試料の採集/試料の処理と検鏡/形態 (種の同定に関わる特性要素) 写真編 I 中心目 (Centrales) の分類 II 羽状目 (Pennales) の分類 II A 無縦溝垂目 (Araphidineae) の分類 II A ディアトマ科 (Diatomaceae) II B 有縦溝垂目 (Raphidineae) の分類 II B<sub>1</sub> ユーノチア科 (Eunotiaceae) II B<sub>2</sub> アクナンテス科 (Achnantheaceae) II B<sub>3</sub> ナビクラ科 (Naviculaceae) II B<sub>4</sub> エピテミア科 (Epithemiaceae) II B<sub>4</sub> ニチア科 (Nitzschiaceae) II B<sub>5</sub> スリレラ科 (Surirellaceae) 学名総索引 事項索引

## 日本淡水化石珪藻図説

*Atlas of Freshwater Fossil Diatoms in Japan —Including related recent taxa—*

田中 宏之 著 B5 判上製・総頁 612 頁・定価 (本体 33,000 円+税)

本書は日本の淡水成堆積物から見出された化石珪藻の図説であり計 236 分類群を収録する (一部に汽水種および現生の淡水珪藻も収録)。本文は各分類群の精密な電顕写真、和文解説、和英の図版キャプションから成り、解説の文献欄には、原記載、または標記の所属に組み合わせを行った文献、殻の形態、種の特性等を理解する上で参考となり入手しやすい文献を示す。

新分類群・新組み合わせ/試料/試料処理・プレパラート作成/収録分類群の配列/収録分類群一覧/記述用語/分類群解説・欧文図版説明・図版 1 中心類 2 無縦溝羽状類 3 単縦溝羽状類 4 双縦溝羽状類/引用文献/学名索引/地層・産地別一覧

## 学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

### 1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円、非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

### 2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

### 3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

### 4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

### 5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

### 6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

日本藻類学会ホームページ <http://sourui.org/welcome.html>

## 藻類

第 67 巻第 2 号

2019 年 7 月 5 日印刷

2019 年 7 月 10 日発行

禁 転 載  
不 許 複 製

© 2019 Japanese Society of Phycology  
日 本 藻 類 学 会

Printed by Isebu Inc.

編集兼発行者

須田彰一郎

〒 903-0213 沖縄県西原町千原 1 番地  
琉球大学 理学部 海洋自然科学科  
Tel 098-895-8564  
E-mail sudas@sci.u-ryukyu.ac.jp

印刷所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20  
Tel 029-851-2515  
Fax 029-852-8501

発行所

日本藻類学会

〒 780-8520 高知県高知市曙町 2-5-1  
高知大学理学部  
Tel: 088-844-8309  
Fax: 088-844-8356 (代表)

## 藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôru)

第 67 卷 第 2 号 2019 年 7 月 10 日

## 目次

## 藻類学最前線

白鳥峻志：従属栄養性クリプト藻 *Goniomonas avonlea* のゲノム解析から明らかになる  
紅藻由来の二次共生の進化 . . . . . 77

西辻光希：未開拓な大型海藻ゲノムの現状とこれから . . . . . 81

2019 年度藻類談話会のお知らせ . . . . . 88

特集 第 15 回 (2019 年) 日本藻類学会 研究奨励賞 . . . . . 89

特集 第 22 回 (2018 年) 日本藻類学会 論文賞 . . . . . 91

## 日本藻類学会第 43 回大会開催記・参加記

宮下英明・神川龍馬：日本藻類学会第 43 回大会 (京都) 開催記 . . . . . 93

遠藤 光：ワークショップ A 「HPLC による色素解析セミナー」に参加して . . . . . 95

横山亜紀子：ワークショップ B 「琵琶湖博物館見学会」に参加して . . . . . 95

## 国際・国内会議参加記

井上幸男：23rd International Seaweed Symposium 参加記 . . . . . 96

## 博物館と藻類

北山太樹・川向聖子：3.11 被災海藻標本の帰還—山田町立鯨と海の科学館の場合— . . . . . 97

英文誌 (Phycological Research) 66 巻 3・4 号和文要旨 . . . . . 98

学会録事 . . . . . 105

会員異動 . . . . . 109

学会・シンポジウム情報 . . . . . 110

入会案内・自動会費納入 . . . . . 111

賛助会員 他 . . . . . 112

和文誌「藻類」投稿案内 . . . . . 113

コラム [遊藻子] 北山太樹：海藻の切手 . . . . . 88